

研究部会「水素機器用エラストマー材料研究分科会」会員の公募

このたび、2012年4月より新たな研究分科会「水素機器用エラストマー材料研究分科会」を発足することになりました。ご承知の通り、水素エネルギー社会実現のため、燃料電池自動車や水素ステーションの研究開発や実証試験が進められております。このような状況下、各種水素機器において水素ガスシールのため使用されるOリングや水素用ホースなどに使用されるゴム・エラストマー材料についても、より高いシール性能や安全性、経済性が求められております。新たな分科会は、直接高圧水素ガスに曝露される水素機器用ゴム・エラストマー材料について、その材料強度や化学構造に対する水素、特に高圧水素の影響評価、ゴム・エラストマー材料と水素の相互作用の解明について、議論の場を提供することを目的としています。さらに、水素機器に使用される水素ガスシール用ゴム・エラストマー材料の素材開発、シール部材開発、シール部材ユーザーという異なる視点や立場からの情報を交換し議論する場を提供することで、水素機器用ゴム・エラストマー材料の研究開発の発展と応用展開を目指し、議論を進め情報発信したいと考えています。

本分科会では、主に以下の研究領域を対象として情報交換、情報発信を進めます。

- 水素機器用ゴム・エラストマー材料の高圧水素環境下における挙動、特に材料強度、化学構造に対する影響解明に関する研究事例
- ゴム・エラストマー材料の水素機器用水素シール材等への適用事例および開発事例
- 水素機器用シール部材、水素用ホース、それらを搭載した水素機器などの開発事例
- 各種水素機器における水素シール材に対する要求使用と各種ゴム・エラストマー材料の適用事例

本分科会では、水素機器用ゴム・エラストマー材料の素材開発、シール部材開発、シール部材ユーザーである水素機器開発に関連する研究者、技術者の方々の積極的なご参加をお待ちしています。また、水素のみならず気体とゴム・エラストマー材料の相互作用について関心を持たれる研究者、技術者の方々も歓迎いたします。「水素機器用エラストマー材料研究分科会」に参加ご希望の方は下記申込先にお申し込みください。

- 構成** 主査 西村 伸 (九州大学大学院)
副主査 古賀 敦 (NOK (株))
書記 藤原 広匡 ((独)産業技術総合研究所)
- 会費** 本分科会運営につきましては、参加会員1名につき研究会費として10,500円/年(消費税込)をお願いいたします。また、日本ゴム協会の会員であることがご入会の条件となります。
- 申込方法** 参加者の氏名、所属・部署、勤務先住所、電話番号、FAX番号、Eメールを明記の上、EメールまたはFAXによりお申し込み下さい。
- 申込締切り** 平成24年3月30日(金)(但し、以降も随時受け付けます)
- 申込先** 〒107-0051 東京都港区元赤坂1-5-26 東部ビル1階
(社)日本ゴム協会 研究分科会 水素機器用エラストマー材料研究分科会
(担当:中川)
電話:03-3401-2957 FAX:03-3401-4143
Eメール:nakagawa@srij.or.jp